



# 2025年度 総合型選抜 募集要項

第一次選抜への出願者用



東北学院大学

## 目的

総合型選抜の目的は、本学の建学の精神と教育方針を理解し、本学への入学と勉学に強い意欲をもつ方の中から、多面的かつ総合的な審査・評価を通じて、本学入学者にふさわしい方を選抜することにあります。

## 募集定員

学部	学科	A日程	B日程
文学部	英文学科	23名	2名
	総合人文学科	6名	1名
	歴史学科	18名	2名
	教育学科	10名	2名
経済学部	経済学科	33名	2名
経営学部	経営学科	39名	2名
法学部	法律学科	31名	4名

学部	学科	A日程	B日程
工学部	機械知能工学科	10名	2名
	電気電子工学科	12名	2名
	環境建設工学科	14名	2名
地域総合学	地域コミュニティ学科	15名	3名
	政策デザイン学科	20名	2名
情報学部	データサイエンス学科	17名	3名
人間科学部	心理行動科学科	26名	3名
国際学部	国際教養学科	15名	3名

## 出願資格

次のすべてに該当する方です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2025年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2025年3月までに取得見込みの方
- (2) 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- (3) 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

## 選抜方法

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して合否を判定します。

### 第一次選抜

- (1) 「第一次選抜審査申請書」など出願書類を提出し、それをもとに書類審査と面接を行います。面接日時は出願期間終了後に決定し、「第一次選抜面接日時のお知らせ」をWEB出願サイトのマイページで公開します（面接期間初日の7日前までにWEB出願サイトに登録したメールアドレスに通知します）。なお、書類審査の結果により面接を行わない場合があります。
- (2) 書類審査と面接（経済学科はグループ・ディスカッションおよび個人面接、法律学科・地域コミュニティ学科・政策デザイン学科はプレゼンテーションおよび個人面接）によって、A、B、C、Dの4段階で評価します。評価結果は評価通知日に合否照会システムで確認することができます。
- (3) 評価は出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかについて、多面的・総合的に行います。  
英文学科では英語資格・検定試験〔ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、TOEIC L&R /TOEIC S&W、TOEFL iBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT〕の成績を第一次選抜の得点に反映させます（2年以内に受験した試験の成績を利用可能とします）。

### 第二次選抜

第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。合否判定は、第一次選抜でA、Bの評価を受けた方は小論文と出願書類審査を、Cの評価を受けた方は小論文と出願書類に基づく面接を行い、第一次選抜における評価と総合することで合格者を選抜します。

## 試験内容

### 第一次選抜

#### (1) 面接

基本的に個人面接形式で行います（30分程度）。出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかなどについて質問をします。以下の学科では次の審査も実施します。

学科名	説明内容
英文学科	英文学科では一定の英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映します。試験の成績証明書がある方は面接時に持参してください(証明書のコピーは不可)。
経済学科	経済学科では、個人面接の前に、1組4人程度でグループ・ディスカッションを行います。所要時間は40分程度です。試験開始時にディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分で、出題されたテーマについて討論を行います。終了後、個人面接を20分程度行います。
法律学科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができているかなどを総合的に評価します。今年度のプレゼンテーションのテーマは「週刊誌が有名人の私生活を報道することの問題点」「自転車運転に免許制を導入するとしたら、どのような内容にしたらよいか」の2つです。なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。
地域コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では、「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度で面接時間中にプレゼンテーションをしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に判断します。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政策デザイン学科	政策デザイン学科では「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、5分程度で面接時間中にプレゼンテーションをしてもらいます。自作のA3サイズ以下の紙面での資料を用意してください。その際は自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。プレゼンテーション内容は第一次選抜審査申請書の「探究学習」と同じでも構いません。プレゼンテーションのテーマは本学のウェブサイトで公開されている政策デザイン学科のカリキュラムなどをもとに設定し、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切になされているか」です。

### 【ポイント】法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションについて

#### 〈法律学科〉

法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「総合型選抜の手引き」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html>

#### 〈政策デザイン学科〉

プレゼンテーションのテーマについては、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。また地域社会の課題というのは、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などです（これ以外でも構いません）。なお、プレゼンテーション内容が第一次選抜審査申請書の「探究学習」と内容が同じでも構いません。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。

### 《第一次選抜受験上の注意》

- (1) 面接日時・場所はWEB出願サイトの「マイページ」から「第一次選抜面接日時のお知らせ」をダウンロードして確認してください。
- (2) 面接開始時間の20分前までに受付を済ませてください。
- (3) 受験をやめる場合、遅刻しそうな場合は、必ず電話でアドミッションズ・オフィスまで連絡してください。

試験当日 ※試験場直通回線	022-263-9214	試験当日のみ通話できます
試験当日以外 ※アドミッションズ・オフィス	022-264-6455	試験当日は通話できません

- (4) 印刷した「第一次選抜面接日時のお知らせ」、筆記用具、身分証明書を持参してください。その他、自分の実績や資格などを証明するもの（資格取得を証明する書類、賞状などのコピー）があれば持参し、面接の先生に提出してください。※上履きは必要ありません。  
英文学科受験者で、英語資格・検定試験の成績証明書を保持している方は、面接時に持参してください（証明書のコピーは不可）。

### 第二次選抜

- (1) 小論文

【文学部・経済学部・経営学部・法学部・地域総合学部・情報学部・人間科学部・国際学部】  
与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。（60分：800字程度）

#### 【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。（60分：600字程度）

- (2) 面接（第一次選抜でC評価を受けた方のみ）

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。（5～10分程度）

#### ●第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方

試験科目	第一次選抜	小論文	書類審査	合計
配点	200	100	100	400

#### ●第一次選抜でC評価を受けた方

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

## 試験日程

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間	評価通知日	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	9月 2日(月) ～ 9月 6日(金) 15時必着	9月21日(土) ～10月10日(木)	10月16日(水) 15時	10月25日(金) ～10月30日(水) 15時必着	11月16日(土) 11月17日(日)	12月 2日(月) 10時
B日程	11月 1日(金) ～11月 6日(水) 15時必着	11月23日(土) ～11月24日(日)	11月29日(金) 15時	12月 2日(月) ～12月 5日(木) 15時必着	12月14日(土)	12月20日(金) 10時

- 第一次選抜の面接は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施します。ただし、予備日を平日に設定する場合があります。
- A日程第二次選抜の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。

## 試験場

	全学部全学科
第一次選抜(A・B日程共通)	東北学院大学五橋キャンパス
第二次選抜(A・B日程共通)	

## 出願手続

### 第一次選抜

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の送付」を行う事で完了します。まず、本学ホームページのWEB出願サイト  
([https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online\\_application.html](https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html)  
または右記QRコード) にアクセスし、出願登録を開始してください。



### 出願書類

#### (1) 入学志願票

インターネット上で出願情報と写真データ(カラー・白黒とも可。正面上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したもの)を登録し、「入学志願票」をA4判普通紙に印刷のうえ、提出してください。

※写真データは、次の①②③を満たすものを登録してください。

①縦横比(4:3)、②サイズ上限:10MB、③データ形式:jpeg/png/bitmap/gifのいずれか

#### (2) 第一次選抜審査申請書(様式)

本学所定の様式を本学ホームページ(<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html> または右記QRコード)より取得し、A4判普通紙に片面印刷したうえで、記入して写真(カラー・白黒とも可。正面上半身脱帽、無背景、最近3ヵ月以内に撮影したもの)を添付してください。



#### (3) 【該当者のみ提出】出身学校の調査書等(高等学校もしくは中等教育学校卒業見込みの方は不要です)

出願資格		調査書等
学校を既に卒業した方		出身学校の「調査書」(厳封されたもの)
高等学校卒業程度 認定試験	受験している方	「受験票のコピー」
	既に合格した方	「合格成績証明書」(厳封されたもの)

### 《出願上の注意》

- 出願書類は市販の角型2号の封筒(A4普通紙が折らずに入る封筒)を使用してください。
- 出願書類は必ず郵便局窓口から簡易書留・速達で、出願期間内に必着するようにアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
- 出願書類の記載については、誤りのないように正確に入力してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- いったん納入された入学検定料及び提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、大学で保管し出願期間初日に受付けます。
- 出願期間内の出願書類の到着確認については郵便局の郵便追跡サービスをご利用ください。郵便追跡サービス利用にかかるお問い合わせは、郵便局にお伺いください。
- 第一次選抜面接日時のお知らせは試験日の7日前からWEB出願サイトのマイページで印刷できるようになります(WEB出願サイトに登録したメールアドレスに通知します)。必ずマイページで**第一次選抜面接日時のお知らせ**を印刷し、試験当日に持参してください。**第一次選抜面接日時のお知らせは本学から郵送しません。**
- A日程に出願した方は、B日程で同じ学科には出願できません。※異なる学科であれば出願できます。

## 第二次選抜

- (1) 第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が、第二次選抜へ出願できます。
- (2) 第二次選抜募集要項は、本学ホームページ上で公開します。  
第二次選抜の出願手続は、第二次選抜募集要項にしたがって行ってください。

## 入学検定料

第一次選抜：10,000円      第二次選抜：23,000円

### 納入方法

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアで納入してください。

## 結果の発表

### 第一次選抜（評価）

合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンでA・B・C・Dの評価を確認することができます。

### 第二次選抜（最終的合否）

A日程：2024年12月 2日(月) 10時

B日程：2024年12月20日(金) 10時

合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

**なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格は取り消されます。**

合否照会システムの操作方法は、下記URLから、募集要項(願書)⇒2025年度⇒全選抜制度共通⇒「東北学院大学を受験されるみなさまへ」をご確認ください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html>



## 総合型選抜における重要評価点（学科別）

学部・学科		重要評価点
文学部	英文学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>十分な学力の裏付けがあること。</li> <li>英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること(第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書(コピー不可)を第一次選抜の面接時に持参すること。</li> <li>知的好奇心が旺盛であること(第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある)。</li> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。</li> <li>英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもってのこと。</li> </ol>
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>思想・哲学・文化・芸術・宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有していること。</li> <li>英語をはじめとした基礎学力を有していること。</li> <li>読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもってのこと(第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある)。</li> <li>社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。</li> </ol>
	歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で考えを明確に説明することができること。</li> <li>歴史に関する基礎知識を有していること。</li> <li>歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。</li> <li>好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある)。</li> <li>幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。</li> </ol>
	教育学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。</li> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。</li> <li>人の学びと教育に関して、強い関心をもってのこと。</li> <li>本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもってのこと。</li> </ol>
経済学部	経済学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>国語・数学・英語の基礎学力が十分にあること。</li> <li>経済学科の理念、教育目標・到達目標について理解していること。</li> <li>経済学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしていること。</li> <li>社会・経済の動きに強い関心を持ち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲を持っていること。</li> <li>論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。</li> </ol>
経営学部	経営学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>国語・数学・英語の十分な学力があること(面接では左記科目の学力を確かめることを目的とした質問をする場合がある)。</li> <li>本学部を志望する経緯について明確に説明できること。</li> <li>本学部で何を学び、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、それを実現するための学修プランをもってのこと。</li> <li>社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、深く掘り下げて調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること(第一次選抜の面接において、説明してもらう場合がある)。</li> </ol>
法学部	法律学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部の水準に達していること。</li> <li>文章を正しく理解するために必要な読書の習慣があること。</li> <li>ニュースに定期的に接する(具体的には、新聞を読む、その他のメディアで視聴すること)により、法や政治への関心や知識をもってのこと。</li> <li>将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分に持っていること。</li> <li>物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できること(第一次選抜の際に、「法または政治」に関する事柄をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> </ol>
工学部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもってのこと。</li> <li>総合型選抜により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。</li> <li>技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもってのこと。</li> <li>学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもってのこと。</li> </ol>
	電気電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、総合型選抜を選択した理由、勉学動機と目標を明確に説明できること。</li> <li>電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。</li> <li>先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもってのこと。</li> </ol>
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。</li> <li>環境、土木、建築で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意欲があること。</li> <li>環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。</li> </ol>
地域総合学部	地域コミュニティ学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。</li> <li>「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探究・解決しようとする意欲があること(第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> <li>校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明できること。</li> <li>将来も地域に積極的にかかわっていかうとする明確な目的と意欲をもってのこと。</li> </ol>
	政策デザイン学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>本学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。</li> <li>本学科で学びたいという明確な意志をもっており、審査申請書について自分の言葉で適切に記述し説明できること。</li> <li>地域が抱える具体的な社会課題に関心をもち、関連する事柄を深く調べたうえで自分の言葉で筋の通った説明ができること(第一次選抜の際に「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> <li>地域課題の解決に貢献しようとする意欲をもってのこと。</li> </ol>
情報学部	データサイエンス学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い関心をもってのこと。</li> <li>本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。</li> <li>一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。</li> <li>人々と積極的にコミュニケーションを図ってきた経験をもち、そのことを具体的に説明できる表現力をもってのこと。</li> </ol>
人間科学部	心理行動科学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>人間の心や身体、社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。</li> <li>人間の心や身体、社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。</li> <li>自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。</li> <li>人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。</li> </ol>
国際学部	国際教養学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>外国語学習への意欲をもち、何かしらの実践をしていること。</li> <li>どんなことをなぜ学びたいのかが明確であること。</li> <li>自分と異なる背景を持つ人と接した経験があること。</li> <li>書物や新聞などを読み、知識や教養を深めようとしていること。</li> <li>「国際」とはどのようなことを意味するか、自分の経験や知識に基づいて具体的に説明できること。</li> </ol>

## 【第一次選抜審査申請書】記入上の注意

### 1. 記入にあたっての注意

- ・出願者本人が記入してください（4頁目の指導教員所見等記入用紙は除きます）。
- ・消えない黒のボールペンで書いてください。
- ・楷書でていねいに書いてください。修正の際は、修正のように二重線を用いて修正し、訂正印を押してください。修正液等は使用しないでください。
- ・「審査申請書」の質問について、与えられた行内におさまるように記入してください。

### 2. 「出身校」の欄について

- ・高等学校もしくは中等教育学校卒業（または卒業見込み）以外の方、たとえば高等専門学校3年修了や高等学校卒業程度認定試験（大検合格含む）で受験資格を取得（または取得見込み）の方は、この欄を利用し、適宜修正して書いてください。

### 3. 「現住所」の欄について

- ・現在住んでいて、すぐに連絡のとれる住所・電話番号を記入してください。

### 4. 「現在の身分」の欄について

- ・「4. 社会人」は職業も記入してください。
- ・1～4のどれにも該当しない方は、5. その他の [ ] 内に具体的に記入してください。

### 5. 「指導教員所見等記入用紙」について

- ・高校生・中等教育学校生は、現在在学する学校の指導教員に記入してもらってください。
- ・既卒者と高等学校卒業程度認定試験受験者または合格者等は、この用紙の提出は不要です。

#### 記入を担当する教員の方へ

「指導教員所見等記入用紙」は、本学ホームページ内（「高校教員の方」のページ：<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/highschool/> または右記QRコード）より、所定用紙のワードファイルがありますので、ご利用ください。



#### 《所見記入者について》

所見を記入する教員は、出願者を何らかの形で指導している教員（クラス担任や部活動顧問の先生等）であれば誰でもかまいません。ただし、出願者と本学との連絡を仲介できる教員としてください。

#### 《学習成績の状況について》

「全体の学習成績の状況」のほかに、学習成績の状況の高い5教科（5科目ではない）について教科名と学習成績の状況を記入してください。なお、下記に指定されている教科の学習成績の状況を必ず含めて5教科を記入してください（文学部歴史学科は指定はありません）。

学部	学科	教科
文学部	英文学科・総合人文学科・教育学科	「外国語(英語)」
経済学部	経済学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
経営学部	経営学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
法学部	法律学科	「国語」「公民」「外国語(英語)」
工学部	機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科	「理科」「数学」
地域総合学部	地域コミュニティ学科・政策デザイン学科	「国語」「外国語(英語)」
情報学部	データサイエンス学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
人間科学部	心理行動科学科	「国語」「数学」「外国語(英語)」
国際学部	国際教養学科	「国語」「外国語(英語)」



## 東北学院大学出願書類

- **入学志願票**

WEB出願システムで入力すると必要事項が記載された入学志願票が自動生成されます。  
生成された入学志願票を必ずA4判普通紙に印刷してください。

- **総合型選抜第一次選抜審査申請書（様式）**

A4判普通紙に片面印刷してください。

- **総合型選抜第一次選抜審査申請書（指導教員所見記入用紙）（様式）**

A4判普通紙に印刷してください。

※入学志願票以外は本学ホームページより取得してください。

